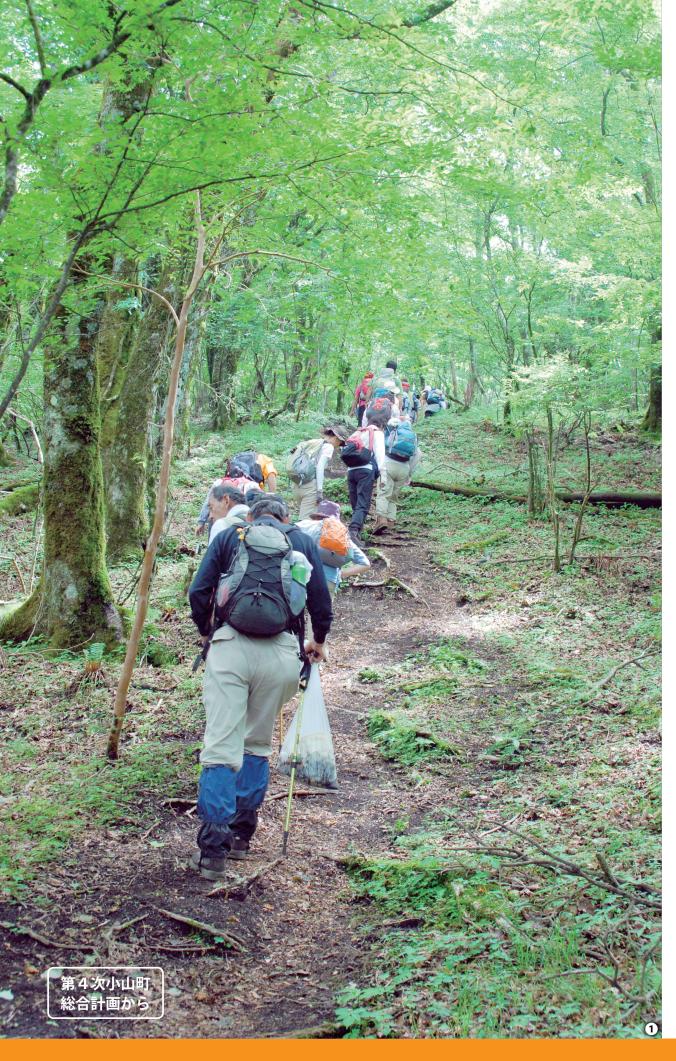
# 豊かな自然あふれるまち。



# 環境を守る

理場で終末処理されています。な 年間排出量は7、970tでした。 るごみ処理は重要で、平成23年度の 好にする必要があります。年々増え ンターで、不燃ごみは生土不燃物処 小山町広域行政組合によるRDFセ ています。燃えるごみは、御殿場市・ 資源ごみ、不燃ごみに分別収集され くためには、環境負荷を軽減して良 全に努めています。環境を守ってい 恩恵を受けている小山町では、身近 な環境に対する意識を高め、環境保 雄大な富士山の豊かな自然環境の 小山町のごみ処理は、燃えるごみ、

> れる予定です。 る「新ごみ処理施設」で焼却処分さ 度から御殿場市板妻地先に建設され お、燃えるごみの処理は、平成27年

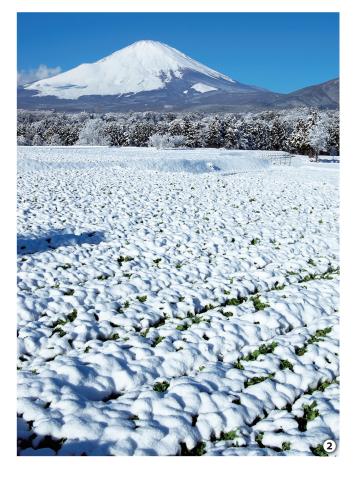
## 調和する

ある景観を創造していきます。 足柄峠や金時山などを生かした魅力 る風景である富士山や河川、 いくことが必要です。小山町の誇れ 郷土愛を高め、交流人口を増やして どの地域資源を守り、活用しながら 地域の豊かな自然や歴史的名所な 田園





## カー規制時のシ



## 充実通の

駅と足柄駅があります。 本線から変わったもので、駿河小山 この御殿場線は、昭和9年に東海道 御殿場線が8・9㎞通っています。 町内には沼津~国府津を結ぶJR 平成23年度の駿河小山駅利用

17万2、025人(1日平均470 553人)で、足柄駅利用者は 者は20万2、243人(1日平均

小山町内のバス路線は、富士急行

運行している無料の「町内巡回コ による路線バス9路線のほか、 ミュニティバス」の5ルートがあり

年間で延べ約3万人が利用していま コミュニティバス(3台)は、

助成も行っています。 れたりする中で、学生のための運行 路線バスの本数が減ったり、廃止さ の必要性が高まっています。民間の 高齢化社会を迎え、公共交通機関

## 一豊かな水

採取と保全のバランスを取り、有効 な自然資源であり、地域の財産です。 が発展してきました。水資源は貴重 水などに利用することで、地域産業 を農産物をはじめ工業用水や生活用 に活用していきます。 小山町では、良質で豊富な地下水

> 道使用量は、日量9、678㎡でし めていきます。平成23年度の町営水 水源の確保、水の安定供給を進

化槽の設置を奨励し、補助金を交付 下水道のない区域には、合併処理浄 に運ぶ分流式の下水道です。また、 始になりました。汚水だけを処理場 成11年に須走地区で下水道が供用開 河川の水質保全を図るために、平



鮎沢川の「おやま んぶらこ」

給と汚水処理は欠かせないもので

水需要の増大に対応できるよう

快適な町民生活には、水の安定供

適切な汚水処理全な水・

され、広域的な交通拠点になること 神地先には、スマートインターチェ 東名高速道路の整備もすすみ、大御 道とも連結しています。さらに、新 東富士五湖道路によって中央自動車 国道246号の東西交通軸に加え 東名高速道路とそれに並行して走る 山梨県、神奈川県との県境にあり て、国道138号、国道469号と ンジ併設のパーキングエリアも計画 小山町は東京から100㎞圏内

国道、 でいます。 改良、新設などの整備にも力を注い 暮らしの基盤であるとともに、地域 です。生活道路である町道の舗装 からなり、総延長は551・7㎞ 内の道路は、平成23年度末現在で、 の活性化を図る大切なものです。 が期待されます。道路整備は快適な 県道を含めて1、510路線

度には道の駅「すばしり」を国道 道246号用沢地先に、平成23年 138号須走地先に開設しました。 16年度に道の駅「ふじおやま」を国 また、国土交通省と小山町は平成





3

### **BEFORE AFTER**

おやま今・むかし



#### 【須走本通り】

須走冨士浅間神社の門前町として栄えてきた須走のメインス トリート。富士登山者のための旅館や商店が立ち並び、地域の 中心地を形成しています。

現在、富士浅間神社春まつりや富士山開山式の際には、盛大 にパレードが開催されています。

写真は、馬車鉄道があった100年前(1906年撮影)のよう すと、50年前の同じ場所。現在とは大きく印象が変わってい ます。







#### INTERVIEW

町民 インタビュー



米山 「「晴さん (上本町)

富士山須走口の登山ルートは、森林限界が高いため高山植物 を楽しみながら登り、違うルートを下るという変化に富んだ登 山を楽しめます。首都圏からのアクセスが良いため関東方面か ら外国人も多数訪れ、特に最近は、中国や韓国のお客さんが急 増しました。富士山にいると、国際情勢や健康ブームなど、社 会情勢も良くわかります。

富士山から小山町は、観光だけでなく水や豊かな心など、多 くの恩恵を受けています。その富士山も、地球温暖化などの影 響で荒れてしまっています。今を生きる人たちが、できること をやっていくことが大切です。

そして、これからを担う子どもたちには、どうやったら守れ るのかを考えて欲しい。富士山のことを子どもたちに伝えてい くことも、わたしたちの大切な役割です。富士山に感謝!



富士山須走口五合目は、標高約2,000m。夏の登山シーズン はたくさんの登山者でにぎわいます。

五合目から片道20分程度の小富士(標高1,979m)ハイキン グは、鳥のさえずりを聞き、植物を見ながら富士山の自然を気 軽に楽しめる、人気のハイキングコースです。